

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔金物〕（経営者） 自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き 来客数の動き	・壁に貼るトタン板などの小さな修理材料の出荷が増加している。素人も修理をしているようである。 ・3か月前よりは行楽地に出向く頻度が高まり、車の稼働率が上がっていることから、修理や販売が増加している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・4月は名刹ご開帳などの大きなイベントがあり、短期的とは思いますが、旅行者などの来客に恵まれ、予想以上に売上が伸びている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・4月は歓迎会等の飲み会で、客の動きが良く、売上が前月比で約10万円増加している。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・4月は特に忙しい日が続いており、来客数も2、3か月前と比べて増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・名刹がご開帳されて2週間経ち、前のご開帳より3割程度多い140万人もの来街者がいるが、消費者の財布のひもは固く、思うようには売れていない。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・強力なナショナルブランドを導入したことで、最近はその商品目当ての客も来店している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・3か月前から前年の売上をクリアしている。4月は気温が低いこともあり、24日までで2%下回っているが、月末に発泡酒増税による仮需要が見込まれることから、総じて変わらない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食品が主体なので、食品の相場価格により売上がかなり変動する。現在は青果部門における価格の高騰で、物量が少なくても売上是上がっているが、魚部門が前年を下回っていることから、合計では対前年比102%となっている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・4月前半は、既存店ベースでレジ通過客数が106～108%と伸び、単価は99～102%と下げ止まってきている。買上点数も微増である。売上是堅調に推移してきているが、客の、モチベーションには反応するが普段は質素に、という態度は変わっていない。入園入学関連の内祝いの単価は、前年2755円に対し、2730円と若干下回ったが、点数は伸びている。気温が不安定なこともあり、春、初夏の衣料の動きは鈍い。
		スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・4月の来客数は、対前年比で102%、売上は101%となっている。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・商圏内の競合2店舗が酒類の取扱いを開始した影響で、酒類の伸びに歯止めがかかっている。発泡酒の値上げによる仮需要もほとんどみられない。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・コンビニの売上に一番貢献度の高い、夕方～夜の来店客が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・新社会人の登場により販売台数が若干伸びたが、低価格車の購入が多く、利益率が低下している。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・観光地であるが、高級ホテルは空室ばかりだが、安いホテル等はかなり埋まっている。車も同様で、高級車は売れないが、低価格車ほど売れている。
		自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・車のアフターマーケットの業界は、構造が変わってきている。構造の変化に対応できないと業績が上がらず、構造不況になっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・3か月前は新年会はなかったが、それなりの売上があった。4月は上旬に歓送迎会の客がかなりあったが、後半に入って全く客が来ない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・名刹のご開帳があり、どの程度の客数があるかわからないが、いずれにせよ客の財布のひもが固いというのは変わっていない。客は安いものを買って帰り、土産等もほとんど買わないで帰っている。
		観光名所（職員）	お客様の様子	・レストラン関係で安いランチの店が活況を呈しているほかは、旅館、ホテル、レストランともに例年より落ち込んでいるという状況は変わっていない。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・SARSの影響で、香港からのインバウンド客が減少している。4月としては記録的な積雪により、学生客のキャンセルと団体客の伸び悩みが顕著である。

	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・各ゴルフ場の料金対応をみながら客が動いているのか、予約の入りが非常に遅い。GWはほぼ前年並みまで戻る。大型コンペの確保に奔走している。
	ゴルフ場（副支配人）	競争相手の様子	・競合の値引き合戦が相当進んでいる。土日の日数の関係で、来場者数は前年をわずかに上回っている。
	競輪場（職員）	来客数の動き	・例年4月は来客数が少なく、売上が伸びない月であり、今月を3月と比べてみても、来客数、売上ともに伸びていない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・不動産の土地価格、賃貸の家賃を下けているにも関わらず、言えばまだ下がると思っている客から値下げ交渉をされることが多くなっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・近隣に大手ショッピングセンターがオープンし、営業時間が9～23時、食品館は24時間営業ということで、商圏に大きな影響を与える。商店街への来客数の減少を懸念している。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・客は unnecessary なものは購入せず、価格に対して敏感である。
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・不況による失業率の上昇、就職難、給料カットの影響で、春のモチベーションが悪くなっている。特に、新生活関連の需要の客単価が低下している。
	百貨店（店長）	来客数の動き	・4月は選挙の影響のためか、急激に来客数が減少している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・売れているのは値上げ前の発泡酒で、それ以外の商品の動きは悪くなっている。酒、たばこの値上げが続くので、来客数、客単価とも厳しい。
	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・衣料品の売上は前年の8～9割と、特に苦戦している。食料品は95～100%とほぼ前年並みで、合計では対前年比90～95%となっている。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・前年と比べ、来客数は変わらないが、売上が低下している。客はもう1品を買うお金がないわけではないので、うまく売ることが勝負の分かれ目である。レジで声掛けをして売り込んだ煎餅やかりんとうは、前年の数十倍の販売になっている。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・DMによる優待セールを行ったが、来客数は思わしくない。
	家電量販店（店長）	競争相手の様子	・近隣の競合パソコンショップの閉店により、売上が若干上向いたが、総じて考えると景気は悪い。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ここ数か月、売上が前年と比べて20%前後減少している。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・SARSの影響で海外旅行が減少しているにもかかわらず、宿泊予約は対前年比マイナスとなっている。
	旅行代理店（経営者）	それ以外	・デフレの進行、イラク戦争に伴うテロやSARSの不安により、客は外に出ないで家に引きこもっている。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・県と市の選挙の影響で夜の店が暇になり、その分収入が減少している。
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・客の廃業、倒産が相次いでおり、うまく集金ができなくなっている。
住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・住宅用土地実勢単価が一層下落しており、半年前に分譲した土地の未販売区画が売れない。	
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・客は予算範囲を決めてから来店する傾向にある。当然余計なことはしないし、単価も厳しい。	
悪くなっている	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・店から100メートルの大型百貨店が撤退し、4か月が経過した。かなり影響を受けており、来客数、来街者数が激減して景気が悪くなっている。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・イラク戦争も終結に向かっているが、SARSにより月に2～3本の割合で、キャンセルや延期が発生している。6月までは海外旅行がない状態になっている。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・SARSの影響により、GWの海外予約が例年の50%に落ち込んでいる。国内旅行の予約も、前年の20%減である。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・SARSの影響でキャンセルが相次いでいる。
	旅行代理店（営業・管理担当）	それ以外	・4月前半は選挙の影響があり、後半はSARSの影響で海外旅行がキャンセルされ、新規受注もなく、厳しい。

		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・業界全体の仕事量が少ない。同業者の中には、しばらく仕事をしていないという事務所もあり、切羽詰った状態である。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	それ以外	・大量受注が決定し、生産を開始している。
		輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・車のフルモデルチェンジの量産が立ち上がり、3か月前に比べると10～15%良くなっている。
	変わらない	食料品製造業 （製造担当）	取引先の様子	・特売やチラシで集客しても、客が買うのは目当ての商品だけで、他の物は買わない。全体的に売れない。
		化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・韓国内の半導体関連企業に供給する材料ガス会社の事故による影響で、20日ほど猛烈に忙しくなったセクションがあったが、この仕事も終了し、元の状態に戻っている。
		精密機械器具製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・引き合いはあるが、短納期、低価格により成約が難しい。
		輸送業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・宅配便等の受注は増加しているが、入学等の時期的なことであり、景気が上向いているほどではない。
		金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・地元商店街は、来客数、客単価の減少により売上が伸びず、厳しい状況が続いている。
		新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	取引先の様子	・名刺のご開帳、その他のイベントにより、付近は平日でもかなり混雑している。名古屋、近畿方面など、遠隔地からでも日帰りツアーがかなり多く、土産物屋や宿坊は忙しい様子である。観光客の宿泊は近隣の温泉地であることから、市内のホテルには余裕がある。
	やや悪く なっている	電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・取引先から、仕事量が少なく、増える様子もないと聞いている。4月に市内の製造業、建設業で民事再生法を申請した企業が2件あり、厳しい状況である。
金融業（融資担 当）		取引先の様子	・取引先のビル管理会社では、賃貸更新の際の値下げ要求が増加している。リストラだけでは追いつかず、賃料が下がらないと立ち行かないというテナントが増えてきているとのことである。	
広告代理店（営 業担当）		受注価格や販売 価格の動き	・販売促進のプランよりも、広告費用を重視する企業が明らかに増加している。必要な時のみ費用を捻出する企業が多く、広告受注の単価下落が非常に目立っている。	
その他サービス 業〔情報サービ ス〕（経営者）		受注価格や販売 価格の動き	・引き合いは多いが、同業他社との競合や異業種との設備予算の取り合い等により、受注の確保、受注価格は一層厳しくなっている。	
その他サービス 業〔放送〕（営 業担当）		受注量や販売量 の動き	・値引き競争や、先行き不透明感により、新年度のコマース年間契約は10%程度落ち込んでいる。新規のスポットコマースも出てきているが、期間が短く、受注金額も小口化している。	
悪く なっている	食料品製造業 （営業統括）	取引先の様子	・同業他社でも販売量の落ち込みが激しくなっている。発泡酒は酒税増税による影響が既に出始めているが、ワインも厳しい。	
	電気機械器具製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・発注元から製造単価を決められることが当たり前の状況になっている。	
	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	取引先の様子	・4月初めに85社が参加して行われた宝飾フェアも、来場者、売上ともに20%減少している。店頭での販売は不振で、客の宝飾品購入に対する慎重な姿勢がうかがえる。	
	建設業（総務担 当）	取引先の様子	・ゴルフ場で乗用カートの導入計画があり、カート路新設の見積書を提出していたが、資金のめどが立たず、計画が先送りされている。	
	不動産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新たに同業に参入する人が増加し、価格競争が厳しくなっている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・対前年比で新規求人、有効求人ともに6か月連続で増加、有効求職者は4か月連続で減少しており、やや良くなっている。

変わらない	人材派遣会社 (経営者)	採用者数の動き	・派遣社員の新年度契約更新では、不況といわれる中、契約解除は1社のみと予想外に少ない。料金引き上げに応じた企業は数社で、ほとんどの派遣社員は時給据え置きである。派遣社員側からの契約解除はない。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	採用者数の動き	・4月26日に大手ショッピングセンターが周辺に開店し、前月にはアウトレットがオープンしていることもあり、4月下旬から5月始めにかけての求人の動きは大変悪く、良い状況とは言えない。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・サービス業の求人広告は、パート、アルバイトが多く、社員の募集は少ない。製造業は自社の募集ではなく、人材派遣会社による募集が多い。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・製造業の求人は、前月比、前年同月比ともに減少している。建設業、製造業、卸、小売など、小規模ながら幅広い分野で、事業廃止、リストラ等による企業整備が続いている。
	民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・3月決算がほぼ確定したが、これほどはっきりと業況の良し悪しが分かれる年は珍しい。業種が同じでも格差は激しく、例年通りという企業は大変少ない。この数年新規採用を控えている企業では、社員の年齢構成比がアンバランスになっており、採用再開時には、若年層の大変な人材不足が予想される。
やや悪く なっている	学校[短期大 学](就職担 当)	求人数の動き	・今春卒業者に対する求人問い合わせは、企業数、求人数ともに前年の約70%となっている。
悪く なっている			